

本願寺の

七不思議



浄土真宗本願寺派の

本山である本願寺

(正式称は「藤山(ふじやま)本願寺」)

(通称は「西本願寺」)の七不思議

その三「唐門」

境内の南、北小路通に面したところに、「唐門(からもん)」と呼ばれる桃山時代の豪華な装飾が施された立派な門があります。国宝にも指定されている唐門は、檜皮葺き(ひわだぶき)・唐破風(からはふ)の四脚門で、伏見城の遺構だとされています。この門を見ただけでも、西本願寺が秀吉の影響を強く受けていることがわかります。

その装飾は見事で、細部にわたる彫刻には思わず魅入ってしまいますが、その彫刻を丹念に眺めていると、時が経つのも忘れ、日が暮れてしまうことから、『日暮門(ひぐらしもん)』という異名もあります。

この唐門には幾つかの言い伝えがあります。門に彫刻された鶴は、江戸時代の彫刻職人、左甚五郎(ひだりじんごろう)の作と伝えられているのですが、夜になると門から抜け出して、飛び回り、鳴いて騒いだと言われています。あまりにうるさいので、その鶴の首を切り落としたという話も…。



また、この唐門には鳥は巢を作らず、蜘蛛も巢を張らないとも言われています。

これは八坂神社の西門などに残されている言い伝えと同じものです。蜘蛛は邪悪とされているので、門はその邪悪な蜘蛛でさえ近寄れない神聖な入り口ということなのでしょうか…。

因みに、唐門にある彫り物の麒麟(きりん)の意匠は、麒麟麦酒(キリンビール)の商標の参考にされたそうです。

今後の法要スケジュール

「報恩講」(善教寺本堂)

十二月 二日(水) 朝席：午前10時〜 昼席：午後一時半〜

講師 宏林晃信師(兵庫県尼崎市浄元寺)

*送迎マイクロバスを運行します。

*お接待当番地区 柏原地区

「宗祖聖人月忌」

門信徒祥月命日法要(善教寺本堂)

十二月 十六日(水) 午後一時半〜

*毎月十六日に本堂において勤めております。

「除夜会」(善教寺鐘楼堂)

十二月三十一日(木) 午後十一時四十五分〜

*鐘楼堂にて除夜の鐘を撞きます。

「元旦会」(善教寺本堂)

一月 一日(金) 午前七時〜



「御正忌法要」(善教寺本堂)

一月 九日(土) 朝席：午前10時〜 昼席：午後一時半〜

講師 藤井大樹師(広島市安佐北区教雲寺)

*送迎マイクロバスを運行します

ご縁に感謝

善教寺ホームページ『縁』 <http://www.otera.or.jp/> メール zenkyo@otera.or.jp